

調布から見える富士と山並み

多摩川住宅 11Fから 撮影：里厚雄

日本の象徴とも言われる富士山ですが、日本中からその姿が見えるわけではありません。幸い調布からは冬の晴れた日にその美しい姿をみる事ができます。

「先日、若葉町3丁目第一緑地で、下のような富士山の写真を撮りました。緑地に隣接する民有地の樹木が宅地開発で伐採され、丹沢山から富士山のスカイラインが、建物ができるまでの間、見えるようになったのです。だから喜んでいる場合ではないけれど、調布の街が大きく変化するなかで、富士山の見え方もずいぶん変わってきているのでは。(TO)」と会員の方からメールをいただいたこともあり、調布から見える富士について聞いてみました。



◆つづじヶ丘にも富士見街があります(北口商店街名)。富士見街が出来た当初(50年位前)は、正面に富士山が見えました。今は、その正面に建物が出来て見ることが出来ません。つづじヶ丘交番前の交差点からは、富士山が見ることが出来ます。(MS)

※甲州街道滝坂に市役所神代出張所の斜め筋向いにあったよろず屋「坂本屋」の小林文太郎からついた「文太の坂」。別名を富士見坂。滝坂の難所を下ってまもなく、眼前に富士山を見たので付いた名だろうという。(調布の古道より)

◆子供のころは平屋でしたので屋根に上って富士を眺めて怒られた記憶があります。二階建てになってからはベランダから眺めていましたが現在は自宅ビルの屋上からも見ることが出来ません。(HT)

◆国領の第百(マニユライフ生命保険株式会社)が都内に移転したのは一昨年の秋。我が家は団地の6階で第百のビルに遮られて富士は見えなかった。「これが無くなればうちから富士山が見える」

上物の解体が終わる隣の7階のマンション



と同じ高さの事務棟だけになったのが今年2月。不気味な太い柱の残る現場の向こうに真っ白な富士と雪の付いた丹沢山塊の雄姿が飛び込んできた。更に解体が全て終わったのは7月だった。第百が無くなった隙間から見える視界は20度余り、そこに変貌を続ける多摩丘陵の姿が広がっていた。夜には鉄橋を渡る列車の明かりが見え、その奥、ひと昔前、何もなかった向山の山肌を家々の明かりが埋め尽くしていた。

どこが何なのか全然分らなかったが、富士を挟んで左の蛭ヶ岳、右の大室山はグーグルアースの3D画像からすぐに特定できた。地図上に国領からそれらのピークを繋ぐラインをひき、ラインを手掛かりに造成中の稲城南山、向陽台のマンション群、若葉台のニュータウンと地図の上をあちこち歩き回った。富士の頂に朝日が射し徐々に丹沢の山々と空が朝日に染まる、紅に輝く夕陽が山々の陰に消え入る一瞬の煌めき、雲の形も、空の色も、富士を添えるともるで違うものに見えるのも不思議だった。第百の跡地ではすぐに新しいマンションの建設が始まり今は以前と同じく富士はもう見えない。(TS)

調布の郷土史家、古橋さんの「みんなしんぶん」では1999年、市内の小中学校31校から見える富士山の調査をしています。「見える20校」「見えるかもしれない2校」という結果が記されています。中でも富士見台小学校は布田崖線にあり、今もその名の通り校舎3階から美しい富士山が望めるそうです。

市内には富士見町という地名もありますが町になる以前は下石原村だったとか。町名地番整理が始まった昭和30年代後半は畑が広がり遮るものが無く、町名が決定した昭和40年も中央高速はまだ工事中で美しい富士が望めたのでしょう。

その他、大正2年発行の「京王電気軌道遊覧案内」では現キューピー(株)近くの跨線橋から見た富士山を「瀧坂富士」と名付けています。残念ながら今回の問いかけに1軒家の庭から見える、というお返事はありませんでした。

一方、大気の状態としては長年市内の二酸化窒素濃度を測定している大気汚染測定運動連絡会の角瀬(かくらい)さんからお借りした資料では1989年に調査した166ヶ所のうち0.05PPM以上が38ヶ所(23%) あったのに比べ2017年調査では92ヶ所のうち6ヶ所(6%)となつています。大気はきれいになつていますが、建造物の増加で見えなくなつていくということですね。また冬は冷たく乾燥した大陸から

花の履歴書 ④7

戸部英貞 (絵・文)

ナズナ (薺) アブラナ科



Capsella bursa-pastoris

1月6日の宵から暁にかけて「七草ナズナ唐土の鳥が日本の土地に渡らぬ先にストントン」と囁いたながら、春の七草を刻み七草粥を炊いて祝う行事は、万葉の時代から民間伝承として続いて来た。

疫病が大陸から渡り鳥(唐土の鳥)によって運ばれてこないように願って歌ったものと考えられ、当時から鳥インフルエンザがあったのだから。

ムギ栽培の伝来と共に日本に渡来したとされるナズナは、田畑や荒地、道端など至るところに生え、果実を三味線の撥(ばち)に見立て、シャミセンガサ、三味線を弾く擬音語からペンペンガサの名前で親しまれてきた。

かつては若苗が冬季の貴重な緑葉野菜であり、また各種薬効は民間薬として重宝され、子供たちは果実をゆつくり引き、垂れ下がった花茎を耳元で振ると果実が触れ合い、シャラシャラと乾いた音色を楽しんだ。こんな野の草を摘んで遊ぶ草花遊び

も、遊び道具の豊かな現代の子供たちには興味も湧かず、遊ぶ姿を見かけなくなりましたが、時にはこの爽やかな音色を耳にしてほしいと思う。

和名の由来は、越年生のナズナが夏には枯れて姿を消すことから夏無(なつな)、撫でたいほど可愛いので撫菜(なでな)など諸説がある。

七草粥は中国の1月7日(人日)に7つの野菜を煮て1年の無病息災を願って食べる古い習慣が平安時代に伝わったもので、『延喜式』によれば7種類の穀類を入れた粥を食べれば邪気を払えると考えられていた。

現在の七草は1362年頃に書かれた源氏物語の注釈書『河海抄』が初見とされ、古くから行われていた若菜摘みが中国の習慣と合体して現代に受け継がれたものと考えられる。現在の七草はほとんどが史前帰化植物と呼ばれるもので、イネやムギと一緒に渡来した田畑の雑草で、世界に広く分布が見られる。

▽一面より

の風で遠くまでよく見通せるので、古橋さんも目で1986年1月朝から毎日観測を始め、1月はほんやり見えたのも含め18日間見えたものの湿度の高くなる6月には1日も見えなかったそうです。

入間・樹林の会

10月15日(土)雨 参加者9名

20年間で初めての雨が降りしきる中、4つの方形枠と2か所の10m四方の植生調査を行った。夏と植生の違いがわかってきたというメンバーもいて継続的な調査の必要を実感した。

11月19日(日)曇りのち晴れ 参加者10名

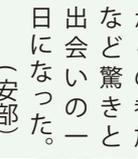
アジサイ群生地の剪定、シロダモやアズマネザサの下草刈りと、斜立しているマテバシイなどの伐採と二手に分かれて作業



ツワブキ

12月17日(日)晴れ 参加者10名

ツバキの森の落ち葉かき、マテバシイ広場でのひこばえの伐採・下草刈り、坂道清掃に分かれて作業した。落ち葉の量の多さの驚き、数年ぶりの参加の小学生が高校生に、ボランティア講座からの参加など驚きと出会いの一日になった。



マンリョウ



サザンカ



因みにダイヤモンド富士は調布でも年2回見える位置だそうです。今期の冬場は年明け1月24日午後4時頃という情報がありました。が確認してみたいものです。

カニ山の会

10月14日(土)雨 参加者9名

環境政策課主催の市内自然環境見学会の日だったので、小島リーダーは30分ほど案内役。その後、公園課長と東樹林の隣接借用予定地について意見交換をした。「先ずは植生調査から」という意見は一致。その後の保全活動については会員募集も含め、今後も話し合っていくことになった。

11月11日(土)晴れ 参加者9+2名

「エゴノキの竹ポット苗作り」応募してくださったのは親子1組だったが、今回は2度目の参加。いっしょに来た男の子がたった数年



2012年2月 東樹林の東側景観



12月9日(土)晴れ 参加者8名
落ち葉かきと剪定(鍛冶)



いっしょになった。

で見違えるようになってビックリ。全員で竹ポットをつくり、前もって拾っておいたエゴノキの種を撒いた。発芽率はあまり高くないとのことだが、春が楽しみ。その後スタジイのドングリを拾い、他の団体といっしょにカマドを使わせてもらい、炒つて食べてみたり、ブランコで遊んだりスタフにも楽しかった。

●▲■ 民家再生で里山に賑わいを 「やぼろじ」和久さんに伺う



今年9月、調布まちづくりの会主催の「まち談」で、国立市谷保にある「やぼろじ」を訪問し、翌月には代表の和久倫也さんを、深大寺の(一社)えねこやにお招きしました。2度にわたって和久さんのお話を伺う機会に恵まれ、民家の再生と里山への想いをじっくりお聴きすることができました。

「やぼろじ」周辺は、住宅と農地が混在しており、調布に似た環境と言えます。そこに江戸時代から続く旧家の敷地の一角で、10年以上空き家になっていた築50年の家を再生し、まちなかに里山の暮らしを甦らせるプロジェクトが始まったのは7年前。地元の子育て中のお母さんたちの、「あの場所でこんなことをしてみたい!」という「楽しい妄想」をきっかけに、家主さんとの対話を重ね、ワークショップを通して次第



に形になっていきました。敷地東側の塀を壊して路地に向かって開いたことから「やぼろじ」と命名。「皆それぞれ得意分野を生かして、汗をかき、その場所に関わることで、参加した一人ひとりの感覚も変わっていく」と和久さん。ここには現在、カフェ、工房、デザイナーや建築家、書店・ギャラリーが入居し、地元ばかりか遠方からも絶えず人が訪れています。

和久さんが取り組まれている「大地の再生プロジェクト」は、土壌に水と空気を循環させて本来の状態に戻すというもので、これは「やぼろじ」周辺の環境づくりに生かされています。水と空気、そして人も絶え間なく流れ、常に変化し続ける新しい里山のモデルは、調



布に住む私たちにも多くのヒントを与えてくれそうです。(菅野千文)

市民が守る

若葉緑地の会

10月7日(土) くもり 参加者4名

定例活動日の8日に都合の悪いメンバーが多く、7日に変更。9月の作業では、強風で折れたクリの木を処理したが、近くのもう一本も枯れていたので伐倒した。清掃など。

11月12日(日) 晴れ 参加者6名

メンバーの一人が提供した中古の棚を用具倉庫内に設置。備品を整頓した。清掃・草刈り。紅葉が進み、昨年種をまいた烏瓜が実った。



12月10日(日) 晴れ 参加者およそ20名

清掃などのかたわら、約20人の参加で恒例のリースづくり。最初に皆で緑地内を歩きながら、リースの材料になる、千両・万両など赤い実をつけた植物の見分け方を学ぶ。鮮やかな瑠璃色のジャノヒゲの実は、子どもたちに大人気。リースができてきた後もしばらく、楽しい声が森に響いていた。(大村)



若葉の森3・1会

10月1日(日) 晴れ 参加者7名

第1緑地では、カフトムシ育成のために2つ目の落葉溜めを竹材で作製。土砂が流出し浮いたフェンス土台を竹材で土留め。コンポスト柵の補修・補強。

第2緑地では、従来からの継続作業を徐々に拡大中。アオキ、ササなどの間引き。大きなシュロ3本伐採。常緑樹の剪定、六別坂と緑地内通路を落葉掻きして落葉溜めへ。緑地全体のごみ拾い。



フェンス土台を竹材で土留め 落ち葉溜め作成



コンポスト柵補強



落ち葉溜めへ ヒヨドリジョウゴ

11月5日(日) 快晴 参加者8名

第1緑地では、第2緑地の廃木を利用して中央通路土留め補強とコンポスト柵を補修。六別坂を落葉掻きして落葉溜めへ。緑地全体で、台風により折れて散乱した枝の片付け。ごみ拾い。(NOK)

凸凹森の会

10月22日(日) 台風21号の影響により中止

11月12日(日) 晴れ 参加者5名

秋のイベントの前の準備と打合せをしました。リース作りの材料になりそうな物はないかな。

センリョウがきれいだけどクリスマスじゃなくてお正月向きだね。



11月26日(日) 晴れ 参加者24名

気持ちの良い秋晴れの下、まずは皆でクズをつるさがし。今年はまだ採れませんが、毎年刈るので太いつるが育たないのかな? つるで作った輪っかに思い思いの飾りをつけてリースを完成させました。(石原)



愛しの外来種

シナヌマエビ

野川の学校 磯邊隆

十数年前まで野川ではカワリヌマエビあり、雨天時に下水道の流れ込む都市部のミナヌマエビが多数生息して、河川の野川にとっては非常に大切な存在でもあります。

シナヌマエビは生命力、移動能力共に高く、シナヌマエビの属の一種 (sp.) となつて



豊富なバリエーションの体色

釣りの放棄から繁殖をします。その後、より安価な大陸産のシナヌマエビ

シナヌマエビは生命力、移動能力共に高く、シナヌマエビの属の一種 (sp.) となつて

ただいま越冬中

入間町2丁目緑地でキアゲハがセリ科のノダケに8個の卵を産み付けています

◇9月3日 卵の頂上部に褐色の点と赤道部をリング状に回った筋紋様が表示



◇9月14日 4齢幼虫 齢を重ねるにつ

れて、幼虫の食欲が旺盛になりました。このままでは、食糧不足で兄弟喧嘩になり

◇9月25日 5齢幼虫 又々、1匹行方不明となりました。防虫ネットをしっか



◇9月28日、前蛹 前日に引き上げたのが正解で、前蛹は、準備した小

このようにキアゲハの変化は劇的で、美しく緑地に通いました。

一方、昨年は周りの開発と緑地内の草刈りで樹林が、明るくなってしまいました

環境市民活動スケジュール

入間・樹林の会

原則毎月第3日曜に樹林の保全活動を行っています

カニ山の会

毎月第2土曜に自然広場で保全活動を行っています

若葉緑地の会

原則毎月第2日曜に若葉町3丁目第3緑地で保全活動を行っています

若葉の森3・1会

原則毎月第1日曜に若葉町3丁目第1・2緑地で保全活動を行っています

凸凹森の会

原則毎月第4日曜に上石原布田崖線緑地で保全活動をしています

先ず5団体の保全活動問合せは緑と公園課 042-481-7083

市民発 ちょうふの自然だより

◆「ちょうふの自然だより」はカンパとボランティアで支えられています

“自然だより”の置き場所を募集中です。

◆地域福祉センター、たづくり11Fみんなの広場、調布市環境部(市役所8F)

◆この自然だよりは ちょうふ環境市民会議ホームページにも掲載、バックナンバーもご覧になれます。